

# 衆議院文部科学委員会ニュース

【第204回国会】令和3年5月21日（金）、第15回の委員会が開かれました。

## 1 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律案起草の件

- ・ 馳浩君外5名（自民、立民、公明、共産、維新）から、起草案を成案とし委員会提出の法律案として決定すべしとの動議が提出され、提出者浮島智子君（公明）から趣旨説明を聴取しました。
- ・ 提出者牧義夫君（立民）及び馳浩君（自民）並びに萩生田文部科学大臣に対し発言がありました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。

（賛成－自民、立民、公明、共産、維新、白須賀貴樹君（無））

（発言者）岡本あき子君（立民）、畑野君枝君（共産）

（発言者及び主な発言事項）

### 岡本あき子君（立民）

- （1） 保育士によるわいせつ行為を防止するために保育士免許に係る制度設計も早急に行うべきであることについての提出者の見解
- （2） 児童生徒が正しい知識を身につけるために包括的性教育が重要であることについての提出者の見解
- （3） 本起草案についての萩生田文部科学大臣の所感

### 畑野君枝君（共産）

- （1） 本起草案について
  - ア 懲戒処分之际して学校の設置者が専門家の協力を得て行う調査においては、全国的な基準を定めるとともに適切な調査方法・項目を速やかに構築する必要があるのではないか
  - イ 都道府県教育職員免許再授与審査会では、被害者の立場の声を反映するために保護者の立場の審査員を選出するとともに、審査過程において保護者、支援者、児童心理等の専門家等からの意見を聴取する必要があるのではないか
- （2） 性教育に関して、現場の教員の萎縮が起きてはならないこと及び学習指導要領の見直しの検討を求める声があることについての萩生田文部科学大臣の見解
- （3） 日本版DBSなどの教育職員以外の児童生徒等に関わる職に就く者に対する早急な対応の必要性

## 2 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する件

- ・ 青山周平君外4名（自民、立民、公明、共産、維新）から提出された教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する件の決議案について、提出者谷田川元君（立民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。

（賛成－自民、立民、公明、維新、共産、白須賀貴樹君（無））

- ・ 萩生田文部科学大臣から発言がありました。